



社会福祉法人の 社会貢献活動事例集 Vol.2

多様化した社会の中で、生活・福祉に関する課題の解決に
積極的に取り組む、社会福祉法人のあり方

大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会

ごあいさつ



社会福祉法人の社会貢献活動事例集 vol.2 発行にあたって

社会福祉法人は、施設における福祉サービスなどの本来業務だけでなく、民間社会福祉事業の担い手として、地域のニーズに応じた様々な「社会貢献活動」を実践しています。

「社会貢献活動事例集」は、県内の各社会福祉法人が今まで以上に地域に根付いた存在となるよう、様々な取り組みを広くご紹介することで、社会福祉法人へのさらなる理解促進を図ろうと、平成29年3月に初めて発行しました。

第2弾となる「事例集vol.2」でも、社会福祉法人がもつ強みを地域社会の中で積極的に活かした取り組みをご紹介します。

私たち社会福祉法人は、社会福祉法人制度創設の理念に立ち返り、今まで以上に地域の信頼と期待に応えていこうと、平成27年7月、「大分県社会福祉法人社会貢献推進協議会」を設置しました。各社会福祉法人が地域の社会資源として、地域に生じている様々な生活や福祉の課題に向き合い、解決を図っているところ

です。
この事例集をご覧頂く皆様が、少しでも社会福祉法人の活動にご理解いただき、共に協力し合いながら豊かな地域社会の構築に携わっていただければ幸いです。

平成30年1月 吉日

大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会



目次

01 page

ごあいさつ
社会福祉法人の社会貢献活動事例集 vol.2 発行にあたって

02 page
12 page

各法人の取り組み
社会貢献事業 | 11法人 |

- 育心会 2
- 大分県福祉会 3
- 九州キリスト教社会福祉事業団 4
- 恵愛会 5
- 聖信会 6
- 大樹会 7
- 同心会 8
- 七瀬陽史会 9
- ハーモニー 10
- みずほ厚生センター 11
- みのり村 12

(50音順)

13 page

法人としての新たな取り組み
おおいた”くらしサポート”事業

障がい者との 交流花開け

豊後高田市の育心会コスモス

一緒に花を植えて交流を深めるコスモスの利用者と田染中の生徒



地域あつての施設。障がい者が地域の中で暮らしていくために、理解を得て、偏見をなくしていきたい。豊後高田市の社会福祉法人育心会コスモスはそんな思いで、障がいのある利用者や小中学生との花植え交流を続けてきた。



一緒に花を植えて交流を深めるコスモスの利用者と田染小の生徒

地域の理解を深める

2009年の移転前に施設があった田染地区の田染小学校、田染中学校とは、およそ25年間の交流がある。利用者には外に出る機会が少なく、地域の人と触れ合う機会がほしいというコスモス側、利用者が自然栽培で育てた花の苗を使った6月と11月の年2回、校庭の花壇とプランターに協力して植えている。「学校側も、早いうちから、指導もする。小学生と

ら障がい者との関わりを持たせたいと考えていたようです。利用者は外に出ることもつながっている。現在、市内各地区の「花いっぱい運動」にも、利用者が育てた花が使われている。花植え交流は他の学校や幼稚園などにも拡大したいと考えた。地域に開かれた施設として、一層つながりを深めていく。

社会参加の場となり、高齢者への敬意を高めることにもつながっている。

は、ゲームやお遊戯も一緒に楽しむ。季節の花々に彩られた校庭は、来校者にも好評だ。

参加した生徒の中には、福祉の道に進みたいと進学先を決めた人もいる。「わざわざ報告に来てくれました。障がい者への理解を深め、この道を目指してくれた生徒が1人でもいる。続けて良かったと思う」

地域活動として月に一度、利用者や職員によるゴミ拾いも実施。交通マナーなどの社会性を身に付ける機会にもなっている。年に一度主催するゲートボール大会では、各チームに利用者も加わり一緒にプレー。

小学生と苗植え

社会福祉法人大分県福祉会が運営する児童養護施設「森の木」では、一人暮らしの高齢者に「食」を通じた楽しみを提供している。

食を通して 温かい交流

「賀来校区一人暮らし高齢者ふれあい交流会」で食事を楽しむ



交流会と宅配サービス



「ふれあい交流会」の演芸会

大分市の森の木

一人暮らし高齢者に

毎年7月に行っている「賀来校区一人暮らし高齢者ふれあい交流会」。演芸会では森の木児童が歌と踊りを披露。森の木が調剤員と賀来地区民生委員が用意した120食をみんが用いた。調理員が頭を悩ませながら作るメニューはグラタンや中華料理などいろいろ。久しぶりに顔を合わせると、演芸会達している。2014年は当日が大雪になってしまった。普段は区民生児童委員協議会が主催し、児童養護施設「森の木」、特別養護老人ホーム「創生の里」、指定障害者施設「第一博愛寮」、社会福祉法人「シンフォニー」の4施設が協賛して行っている。「地域交流のお手伝い」の輪は広がっている。

くの礼状が届いたという。二つのサービスは賀来校区社会福祉協議会と賀来校区民生児童委員協議会が主催し、児童養護施設「森の木」、特別養護老人ホーム「創生の里」、指定障害者施設「第一博愛寮」、社会福祉法人「シンフォニー」の4施設が協賛して行っている。「地域交流のお手伝い」の輪は広がっている。

施設データ

社会福祉法人 大分県福祉会

住所 〒870-0025 大分県大分市頭徳町1丁目13-17
TEL (097)532-3472
理事長 有松一郎

運営施設(事業所) 母子生活支援施設 別府厚生館、障害者支援施設 うえの園 障害児入所施設 清明あけぼの学園、児童養護施設 森の木 滝尾保育園、明野しいのみ保育園



施設データ

社会福祉法人 育心会

住所 〒879-0604 大分県豊後高田市美和1684番地
TEL (0978)25-4111
理事長 土谷力

運営施設(事業所) 障害者支援施設コスモス(生活介護・入所支援・短期入所・就労継続支援B型)、グループホーム事業、地域相談支援事業、地域貢献活動事業、福祉タクシー事業、連絡調整等事業



地域の高齢者 楽しみながら かいこの学校

健康で長生きを。別府市北鉄輪の高齢者ケアセンター茶寿苑は2010年から、地域の高齢者を対象に「かいこの学校」を開催している。介護スタッフやケアマネジャー、管理栄養士、看護師ら専門職の知識やノウハウを還元し、地域社会への貢献を目指す取り組みだ。

別府市の茶寿苑



健康に長生きすることを目指す「かいこの学校」。タオルを使ったエクササイズに挑戦



地域の高齢者が先生の折り紙教室。自然と笑顔がこぼれる



デイサービスで調理するボランティアの女性（中央）。利用者も一緒にエプロンを着る

身に付く専門知識

介護保険制度、防災、パ場にもなっている。ランスの良い食事や口腔ケアといったさまざまな知識を、実践を交えて学ぶ。年一度はバスで研修旅行へ。人との関わりが希薄になりがちな一人暮らしに張り意欲を付与。かしま励む。「みんなでするから普段で行ける集いの楽しいね」。自然に笑顔が

浮かぶ。「皆さんとの出会いがまづうれしく、日常に必要な知識が身に付きます。『知っていても』と『分かる』と違って、やっぱり違うんです」と初回から参加している小野洋子さん。学校への参加をきっかけ

に、施設でボランティア活動に取り組む人たちがいる。デイサービスで毎週開かれる折り紙教室。安東咲子さんは利用者の手を取りながら「次はここをこうするんよ」と声を掛ける。近い世代のボランティアの存在は、利用者の安心や落ち着きにもつながる。得意なことを生かし、地域の高齢者が輝く場にもなっている。

ボランティアグループの活動の場提供



2毛作会の定例会。メンバーが集まり活動について話し合う

社会を支える 「人生二毛作」

中津市のいずみの園

さまざまな介護技術などを学ぶ福祉ボランティア専門講座



生きがい見いだす

「できていなくても、みんな笑顔ながらやっています。私も楽しいです」と。茨本静江さんは週3回、デイサービスの食事の準備に通う。野菜の皮むきなどの簡単な作業には利用者も参加。日常の動作は介護予防やリハビリにもなる。同年代が作る食べ物に口に合うんじゃないかな。家にいるより楽しいし、喜んでもらえるから続けられる。おかげで元気です」

「何から始めていいのかわからない。具体的な活動の提案をしてくれる。生きがい、やりがいを持ち生きることの助けとなれば、支えられる側ではなく支える側として、ぜひ元気に頑張ってもらいたい」と話す。

現状は施設内での活動に限られているが、将来的には地域に広げていく考え。岩崎センター長は「活動の場の最初の入り口として施設がある。地域が出口となり、皆さんには一層活躍していただきたい」と力を込めた。

「人生二毛作」。仕事や子育てに奮闘した現役時代が一毛作目。それまでの仕事以外の生きがいを見いだす退職後を一毛作目と捉え、新しい社会活動の場を提供する。岩崎深雪センター長は「何から始めていいのかわからない。具体的な活動の提案をしてくれる。生きがい、やりがいを持ち生きることの助けとなれば、支えられる側ではなく支える側として、ぜひ元気に頑張ってもらいたい」と話す。

高齢化が進み、介護の知識や技術を地域に広めていくことの必要性が高まる昨今。中津総合ケアセンターいずみの園の人材育成・研修センターは、誰でも無料で参加できる介護福祉の講座などを通じて、地域住民への啓発を進めている。2年前には施設内のボランティアグループも発足。いきいきと活動している。

介護福祉講座の受講生ら

体験・実習を含むさまざまな勉強会を定期的に開催。介護や福祉、ボランティアは2016年3月。講座の開催。介護や福祉、ボランティアは2016年3月。講座の開催。介護や福祉、ボランティアは2016年3月。講座の開催。

施設データ

社会福祉法人 恵愛会

住所 〒874-0041 大分県別府市北鉄輪3組
TEL (0977)66-5021
理事長 山本記顯

運営施設(事業所) 特別養護老人ホーム茶寿苑、地域密着型特別養護老人ホーム茶寿苑、茶寿苑通所介護、茶寿苑訪問介護、小規模多機能型居宅介護施設茶寿苑、介護保険サービスセンター茶寿苑、鶴見台地域包括支援センター、別府軽費老人ホーム閑話園



施設データ

社会福祉法人 九州キリスト教社会福祉事業団

住所 〒871-0162 大分県中津市大字永添2744番地
TEL (0979)23-1616
理事長 富永健司

運営施設(事業所) 高齢者福祉事業(特養・ケアハウス・戸建有料老人ホーム・在宅サービス 他) 障がい福祉事業(基幹相談支援・就労継続・生活介護・地域活動支援センター 他) 児童福祉事業、子育て支援事業 人材育成・研修事業、生活困窮者等に対する相談支援事業(おおいた「くらしサポート」事業) 社会貢献活動推進事業 など

HP <http://www.izuminosono.jp>



子ども食堂

苦手な野菜もみんなとおいしく

子ども食堂で協力して食事の準備をする子どもたち



地域に親しまれる施設として、子どもたちが寄り合う場として。中津市の特別養護老人ホーム「さわらび」は昨年7月、子ども食堂を始めた。施設がある津校区の子どもたちが対象。オープンスペースで月に2回、温かい食事を提供する。長期休暇中の平日は学習室としても、中学生向けに開放している。

月2回、宿題や合唱も

中津市の特養「さわらび」



食後は宿題や遊びの時間。ギターに合わせて楽しく合唱

午後5時を過ぎ、子どもたちが集まってきた。この日のメニューはカレーライスのスープ、ゆで卵、フルーツポンチ。誕生日ケーキもある。14人の参加者全員で配膳をして、にぎやかに「いただきます」。食事後は宿題の続きをしたり、運動会に向けて練習中のエイサーを披露したり。ギターに合わせて、「大きな古時計」を元気に歌った。弟と通う男児は「おいしいご飯が食べられて、勉強を教えてもらえて、いっぱい話ができるし聞いてもらえる」。保護者の1人は「学校や家とは別の場所、いろいろな学年の子と触れ合える。好きではなかった野菜も、みんなと一緒に食べられるようになってきた」と喜ぶ。

子ども食堂の開設は古川信房理事長が発案。地域密着型の社会福祉法人として貢献策を模索する中、ニーズは必ずあると考えた。参加費は100円で施設長、事務長を中心運営。施設の管理栄養士が中心といふ飯が食べられて、勉強なり、給食の契約業者もボランティアで調理する。

開設時には、小中学校を通じて全ての家庭に案内を出した。「気持ちが悪くなる子も、一人でもいれたいという思いがあった。食事に困る子どもや、課題のある家庭だけが対象というわけではない」と宝珠山照人施設長は言う。

入居者と一緒に取り組む活動も模索する。閉鎖的で単調になりがちな施設生活に、「元気な子どもたちとの接点ができる。子どもたちも、かわいがってくれるお年寄りとの関わりが持てる。この環境を互いにとってプラスにしたいと考えた。

大樹会が地域に出向いて行うセミナー



「認知症」など 分かりやすく

玖珠町・九重町で事業を展開する社会福祉法人「大樹会」の職員が、地域に出向いて開くセミナーが好評だ。専門性を生かし、健康や介護に関する情報提供として2016年度からスタートした。

出前セミナー好評

玖珠・九重で「大樹会」

専門職がボランティアで講師に



豊かな自然と文化が人々の暮らしに息づく玖珠郡。少子高齢化が進む地域で、「住み慣れた町で、安心して暮らしたい」という願いは年々切実になっている。大樹会は「地域の方々には還元できることはないか」という思いで、住民の関心が高い認知症等に関する情報提供と、生活の困りごとなどを気軽に相談できる場を提供しようと無料セミナーの開催に踏み切った。2カ月に1回のペースで開くセミナーは、施設で働く

く専門職がボランティアで講師となり、分かりやすく工夫して伝えている。講師陣は栄養士やケアマネジャー、看護師、社会福祉士、理学療法士など多職種。6人でチームを組み、セミナーを運営する。これまでに誤嚥性肺炎、介護保険制などの概要、食欲が落ちてきたときの食事、認知症を予防する栄養学など、専門性を生かした幅広い内容のセミナーを提供してきた。講演の後には、困りごとなどを相談できる時間もある。

「健康への願い」支援

り、実際にここで寄せられた声が生かされたという。依頼があれば地域の「いきいきサロン」などにも出向く。

9月末に森自治会館で開かれたセミナーをのぞくと、寸劇や認知症を予防する体操も紹介され、会場は和やかな雰囲気包まれていた。「じわじわ広がってきている段階です。職員にとっても地域の活動は勉強になっており、住民の皆さんの日常生活を知ることがケアに生かされていると感じます」と、セミナーを担当する永弘貴子さんは話す。

「春日荘」所長で理学療法士の渡邊哲也さんは「健康は誰もが持つ願い。要介護状態になる前に予防的に取り組めることはたくさんあると実感しています。できるだけ早く介護予防や啓発に取り組み、健康寿命が延びることはいきいきとした地域づくりにもつながります」と力を込める。自分たちだからこその地域貢献が、よりよい地域づくりの循環を生み出している。

施設データ

社会福祉法人 大樹会

- 住所 〒879-4601 大分県玖珠郡九重町右田3156-7
〒879-4403 大分県玖珠郡玖珠町帆足2189-1
- TEL 九重町右田(0973)76-2100 玖珠町帆足(0973)72-1515
玖珠町大字森(0973)72-0077
- 理事長 武田大威
- 運営施設(事業所) シルバーランドメルハン、グループホーム結の里、メルハンショートステイサービス、介護保険サービスセンターメルハン、訪問介護ステーションメルハン、デイサービスセンター春日荘、共生の里メルハン、デイサービスセンターはるかぜ、共生の里メルハン森栄館、ショートステイサービス森栄館
- HP <http://www.daiyukai-meruhen.com>



施設データ

社会福祉法人 聖信会

- 住所 〒879-0103 大分県中津市植野241番地1
- TEL (0979)33-1138
- 理事長 古川信房
- 運営施設(事業所) 特別養護老人ホームさわらび、ショートステイさわらび



サクラの下



クランフォントゴルフを和気あいあいとプレーする参加者



数多く用意された商品

グラウンドゴルフ大会

はつらつプレー

春を満喫するとともに、健康づくりと地域の連携を強化する「こころを目的に「和泉しあわせの丘観桜グラウンドゴルフ大会」をスタートさせた。

16チームが競う

大会が開かれるグラウンドは行事のないときにはゲートボールやボウイスカウト団体などの利用に無料で開放している。外川陽一理事長は「大分県が掲げる『健康寿命日本一』の目標に向けて協力することにも、地域貢献をさらに進めたい」と話す。今後も大会を盛り上げていく考えだ。

1チーム6人編成で、野津原地区(8チーム)、植田近隣地区(6チーム)、法人(2チーム)の合計96人が大会を行っている。大会は盛況で、12年からは植田近隣地区16チームによる予選も行われるようになった。

サクラの咲く時期を選んで日程を調整。70〜90代のプレーヤーが参加。17年の最高齢者は89歳だった。16ホールで熱戦を展開。好成績を収めたチーム、個人を表彰する。賞品も防災グッズなど数多く用意。参加賞もあり、楽しみにしている人も多い。表彰式の後には、用意した食事を取りながら、当日のプレーや近況などに話を弾ませた。

大分市の七瀬陽史会

サクラの花に囲まれながら、グラウンドゴルフを楽しむ。大分市の社会福祉法人七瀬陽史会が毎年行っている大会では地域の高齢者らが和気あいあいとプレーしている。

県の保養施設だった「しる。あわせの丘」を七瀬陽史会が2007年に購入。サ野津原社会福祉協議会から1ピス付き高齢者向け住宅やデイサービスセンターを寄贈してもらえないかと、1として利用している。敷地内にはサクラの木が至る所に植えられ、春には入所者の目を楽しませてい

一度は失った社会とのつながり…



ボランティアで施設の清掃をするAさん

ある晴れた日の午前中、施設の庭で清掃活動をするAさんが盗を犯してしまった過去があった。盗を犯してしまっただけでなく、ボランティア活動の場を提供するようになった。

2015年9月にボランティアを開始。人と関わることに抵抗があったため、マイペースでできる庭の清掃や草取りが主な仕事になった。仕事ぶりは丁寧で、慣れてくると職員や利用者からの声掛けに満面の笑みが見られるようになっていったという。

同園の職員は「出会ったころ

孤立解消を支援

もう一度、社会とつながりたい。さまざまな事情で社会から孤立した人に、社会福祉法人として手助けできることはないか。社会福祉法

人同心会が運営する諏訪緑の園は、孤立解消のための支援に取り組んできた。

白杵市の諏訪緑の園

ボランティアの場提供 「生きる力」引き出す



それぞれの人に合った支援を続ける 宇都宮施設長

「私たちは『生きる力』を応援したいと考えています。その人がどう生きていけるかがスタート。本人の持っている力を引き出す支援を続けていきたい」と宇都宮施設長。人生を生きるのには、その人自身に他ならない。それぞれの人が合った型にはまらない支援が、地域の社会福祉法人で始まっている。

「私たちは『生きる力』を応援したいと考えています。その人がどう生きていけるかがスタート。本人の持っている力を引き出す支援を続けていきたい」と宇都宮施設長。人生を生きるのには、その人自身に他ならない。それぞれの人が合った型にはまらない支援が、地域の社会福祉法人で始まっている。

ボランティア活動を続けるうちにAさんの中で「働きたい」というひとつの答えが見つかった。就労後も、「休みの日はボランティアを続けたい」と月に一度のペースで諏訪緑の園に通っている。「ありがとう」の一言が、何よりの励みになっている。

「私たちは『生きる力』を応援したいと考えています。その人がどう生きていけるかがスタート。本人の持っている力を引き出す支援を続けていきたい」と宇都宮施設長。人生を生きるのには、その人自身に他ならない。それぞれの人が合った型にはまらない支援が、地域の社会福祉法人で始まっている。

施設データ

社会福祉法人 七瀬陽史会

住所 〒870-1211 大分県大分市大字竹矢1024番地の1
TEL (097)588-1110
理事長 外川陽一

運営施設(事業所) 特別養護老人ホーム和泉荘、和泉ショートステイサービス、和泉デイサービスセンター、和泉デイサービスセンターE型、介護保険サービスセンター和泉荘、和泉ヘルパーステーション、サービス付き高齢者向け住宅 和泉しあわせの丘



施設データ

社会福祉法人 同心会

住所 〒875-0011 大分県白杵市諏訪289番地の1
TEL (0972)63-2551
理事長 一原浩

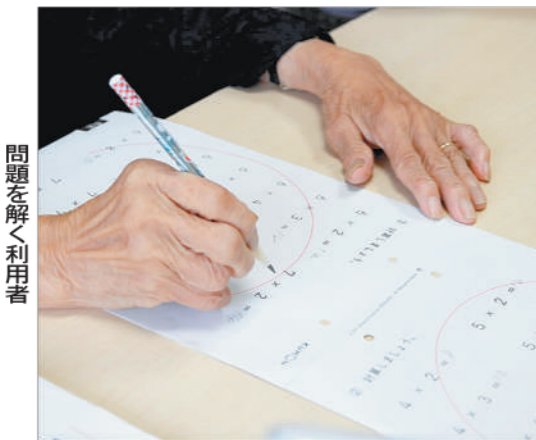
運営施設(事業所) <白杵>諏訪緑の園、高齢者総合福祉施設 緑の園、養護老人ホーム 白杵市安生寮 <津久見>高齢者総合福祉施設 しおさい



「脳の健康教室」で問題を解く利用者を、教室サポーターが見守る



臼杵市のみずほ厚生センター



問題を解く利用者

夢中で教材を解く

利用者が生き生きとしてくる姿が何よりの励みだという。「脳の健康教室」は「学習療法センター」が四季の郷居宅支援事業部が開設した独自の認知症予防プログラム。続けて行うことで、認知機能やコミュニケーション能力を高めたいです。

楽しく認知症の予防 脳の健康教室

認知症の予防効果が注目される学習療法を地域に広めようと、臼杵市のみずほ厚生センターが「脳の健康教室」に取り組んでいる。週一回開かれる教室に近隣の住民が参加し、仲間との会話を楽しむ笑顔が広がる。

四季の郷「輝」デイサービスのある日の教室をのぞくと、編集された教材を集中して解く利用者や、教室サポーターが見守っていた。原則として週に1回、利用者が2人につき学習を支援する。サポーターの女性は話す。

する教室サポーターが一人付き添い、コミュニケーションを取りながら進める。読み書き・計算を中心、30分ほどの学習はあっという間に過ぎていく。勉強の後はお茶を飲みながら談笑タイム。開校時から通う80代の女性は「お友達が増えて楽しいです」とほほ笑む。「宿題もあるから、生活にメリハリがついた」という声も。「続けるうちに問題を解くのが速くなり、脳が活性化されていくのが分かります」と教室サポーターの女性は話す。画し、研鑽を続けている。

力などをつかさどる脳の前頭野機能の維持や改善を図る効果が実証されている。みずほ厚生センターは2008年から学習療法に取り組んできた。法人内の施設で実施したところ効果が目立ったため、「住民も利用できるような教室にして、地域貢献につなげたい」という思いで11年から一般向けに「脳の健康教室」を開講。県内で学習療法に取り組む施設などをつくる大分学習療法研究会にも参加し、研鑽を続けている。

地域支援 輪を広げる

大分市の「社会福祉法人ハーモニー」が運営する障がい者支援施設「ハーモニーの森」は子ども食堂「きつちん☆はーもにー」の取り組みを進めている。地域の民生委員や学校、戸次地区社協などに協力を求め、2017年7月に初めて実施した。



カレーライスをおいしそうに食べる子どもたち



ポッチャな障がい者スポーツも体験

大分市の「ハーモニーの森」

「子どもやその家族が気軽に立ち寄り、子どもが一人でも安心して過ごすことができる場の提供」が狙い。ハーモニーの森では、主に身体障がいのある人がおおいに暮らしサポート

生活している。その特徴を生かし、ポッチャなどの障がい者スポーツ体験もプログラムとして取り入れ、子どもと障がい者が一緒に同じ時間を楽しむ工夫をしている。また、大分大学の学生もボランティアとして加わり、大きな力となっている。

二つの取り組みつなぐ

事業では、実際に生活困窮者に会い、なぜ生活に行き詰まったのか原因を調べ、状況を把握する。必要であれば、現物支給を行い、公的支援につながるよう支援を行う。その後も生活の自立に向け見守る。「15年のスタートから今まで30件の相談に取り組みました。最近ではスクールソーシャルワーカーから連絡があるなど、この活動が認知され始めていると感じています。しかし、まだまだ公的支援を受けられずに生活に悩んでいる人はたくさんいるはず。社会福祉法人が、地域のセーフティネットとなるような活動を続けていきたい」と事業を担当するコミュニケーションソーシャルワーカーの大嶋宏さん。

施設データ

社会福祉法人 みずほ厚生センター

住所 〒875-0023 大分県臼杵市大字江無田1119番地の5

TEL (0972)64-0177

理事長 大塚恭弘

運営施設(事業所) 特別養護老人ホーム四季の郷、障害児入所施設みずほ学園、障害者支援施設 聖心園、グループホームあつとほーむ風車、無料・低額宿泊事業 ときわ荘 など



施設データ

社会福祉法人 ハーモニー

住所 〒879-7761 大分県大分市大字中戸次6042番

TEL (097)597-8818

理事長 室寛志

運営施設(事業所) 障がい者支援施設ハーモニーの森、ケアホームハーモニー(共同生活援助)、相談支援事業所ハーモニー



全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償 ボランティア活動保険



対象となるボランティア活動

- ◆グループの会則に則り企画、立案された活動であること (グループが社会福祉協議会に登録されていることが必要です。)
- ◆社会福祉協議会に届け出た活動であること
- ◆社会福祉協議会に委嘱された活動であること
- ※活動のための学習会または会議などを含みます。
- ※自宅などとボランティア活動を行う場所との通常の経路による往復上を含みます。(自宅以外から出発する場合は、その場所と活動場所への往復上となります。)

保険金をお支払いする主な場合

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。(ケガの補償)
- 活動に向かう途中、交通事故にあって亡くなられた。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。(ケガの補償)
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花瓶を落としてこぼした。(賠償責任の補償)
- 自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。(賠償責任の補償)

保険金額・年間保険料 (1名あたり)

		Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金	1,320万円	1,800万円
	後遺障害保険金	1,320万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額	6,500円	10,000円
	手術保険金	入院中の手術 65,000円 外来の手術 32,500円	100,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ	
賠償責任の補償	葬祭費用保険金 (特定感染症)	300万円 (限度額)	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円 (限度額)	
年間保険料	基本タイプ	350円	510円
	天災タイプ(*) (基本タイプ+地震・噴火・津波)	500円	710円

(*)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償します(天災危険担保特約条項)が、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!
● 行事参加者(主催者(個人)を含みます。)全員のケガを補償(往復上も含みます。) ● 行事主催者の損害賠償責任も補償

送迎サービス補償 (傷害保険)

- 送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!
- 送迎・移送サービス利用者を選定したAプラン
 - 送迎・移送サービスのための自動車を特定したBプラン

福祉サービス総合補償 (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

- ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!
- 在宅福祉サービス (公的介護保険対象外サービスを含みます。)
 - 障害福祉サービス
 - 児童福祉サービス
 - 障害者地域生活支援事業
 - 地域福祉サービス
 - 介護保険サービス など

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
〈引受幹事〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

1 基本補償(賠償・見舞費用)

補償金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金補償限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等の各種費用	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	死亡10万円 後遺障害0.3~10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)	死亡10万円 後遺障害0.3~10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)
傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円	

年額保険料(掛金)		定員	基本補償(A型)
基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)	1~50名	35,000~61,460円
		51~100名	68,270~97,000円
		以降1名~10名増ごと	1,500円
基本補償(A型) 保険料		【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円	
オプション1		● 訪問・相談等サービス補償	
オプション2		● 医務室の医療事故補償	
オプション3		● 看護士の賠償責任補償 新設	
		● 借用不動産賠償事故補償	

2 個人情報漏えい対応補償 3 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償 (普通傷害保険)

1 入所型施設利用者の傷害事故補償 2 通所型施設利用者の傷害事故補償

補償金額		1口あたりの補償額
死亡保険金	100万円	100万円
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4~100%	
入院保険金(1日あたり)	800円	800円
手術保険金	入院中の手術: 入院保険金日額の10倍 外来の手術: 入院保険金日額の5倍	
通院保険金(1日あたり)	500円	500円

年額保険料(掛金)		定員1人1口あたり
1 入所型施設利用者	1,310円	1,310円
2 通所型施設利用者	990円	990円
3 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償		施設送迎車に搭乗中のケガに対し、プラン2-1、2の傷害保険や自動車保険などとは関係なく補償

プラン3 施設職員の補償 (労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険)

2 施設職員の傷害事故補償 (10口まで加入できます)

補償金額		1口あたりの補償額
死亡保険金	140万円	140万円
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4~100%	
入院保険金(1日あたり)	1,500円	1,500円
手術保険金	入院中の手術: 入院保険金日額の10倍 外来の手術: 入院保険金日額の5倍	
通院保険金(1日あたり)	600円	600円

年額保険料(掛金)		定員1人1口あたり
施設役員・職員の1名1口あたり	3円(1日あたり)	780円(年間: 週5日勤務の場合)
1 施設職員の労災上乗せ補償		● オプション: 使用者賠償責任補償
3 施設職員の感染症罹患事故補償		

プラン4 社会福祉法人役員等の補償 (賠償責任保険)

補償金額		A型	B型	C型
賠償責任		5,000万円	1億円	3億円

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
〈引受幹事〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、12/29~1/3を除きます。)



大分県社会福祉協議会

〒870-0907 大分県大分市大津町2丁目1番41号 大分県総合社会福祉会館内

TEL.097-558-0300 FAX.097-558-1635

<http://www.oitakensyakyo.jp/>

発行 2018年1月